

with SPOS

※SBSは、正文舎 (SyouBunSyuaの略です)

《連載》

にほんごのまめ知識
Focus on JAPANESE

《第16回》

古文書を読む



正文舎のアレやコレ。

今月のキーワードは「V」

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

VALUE~新型コロナウイルス問題で考えたこと

TOPICS ————— Googleマイビジネス

New&Goods ————— 正文舎の春



株式会社 正文舎のすべての情報は、WEBサイトでご確認ください。
バックナンバーもこちらから。



Illustration_Adobe Stock

「株式会社 正文舎」 **A** to **Z**

VALUE

Text_Shirafuji Saori

新型コロナウイルス問題で考えたこと

væljʊ: [名詞] (…の) 価値: 重要性、たいせつさ、有用性、ありがたみ。

新年度を迎え、新しいスタートを切る4月。いつもの年とは違い、新型コロナウイルスの問題があり、新しい年度に切り替わったという実感は薄いかもしれません。

2020年の正文舎では、社長が「変わるべきこと、守るべきことを見極めよう」というスローガンを作り、会社全体で変化のための取り組みを始めようとしていました。急速に変わる社会の状況で、「見極めよう」という年ではなく、「変わってしまった」2020年になるのではないかと予測しています。



Illustration_Adobe Stock

2020年の初めに考えたこと

社長からスローガンを聞いたときから、私は「正文舎が持っている価値観」を改めて考える年にしようと考えていました。「変えること、守ること」は、正文舎をしっかり見ていないとわからないことですから。自分が何を大事にしているのか、スタッフ一人ひとりが気づかなければなりません。自分たちが持っているイメージが、お客様にも投影されるからです。自分の価値観を知るためには、自分に問いかけることが必要です。

ですので、私は相当意識して、スタッフには自分の内側を見るような質問をしたり、話をしたりしてきました。

「正文舎が持っている価値観」として話すと、経営者以外には難しい話になります。会社全体のことを考える機会は経営者でない限り、そうそうないですね。ですので、私は「あなたの大切にしているものは何なのか」と考えてもらうようにしています。社員一人ひとりが思っていることが、最終的には「会社が持っている価値観」につながっているからです。

2020年の3月の終わりに考えていること

そうこうしているうちに、新型コロナウイルスの感染が世界中に急激に広まりました。人の行き来が激減し、経済は冷え込んでいます。自分は、正文舎は何も変わっていないのに、いつの間にか社会の状況が変わっている。そんな感じです。今はその変わった状況に合わせて、仕事を調整している段階です。みなさんも同じだと思いますが、何か問題が起こるたびに調整し続けるだけでは疲弊してしまいます。

これは一時的な現象なのだろうか。待っていたら、元の社会に戻るのだろうか。新型コロナウイルスは完全に解決されるのだろうか。次のビジネスモデルっていったいどんなことなのだろうか。

たぶん、同じような環境で、同じような行動をして、同じように考えていても、変わっていることには気づけないのです。新しい価値観は、今まで体験してこなかったことから生まれるので新しいのですから。

新しい行動をするには、今までの価値観に気づき、手放す必要があります。ですが、それが難しいのです。どんなことを思っているのか、何を考えているか、自分の本音に気づいている人は少ないでしょう。

では、何をしたらよいのでしょうか。それはごくごく簡単なことです。「自分が一番したいことは何なのか」「何のために仕事をするのか」「何のために会社を経営するのか」「大切な人に何をしておあげられるのか」などひとつひとつ紙に書き出してみることで。

紙に書き出してみると、自分が大切にしていることが浮き彫りになります。これが価値観ですね。そして、この価値観を持ち続けるとどうなるか、手放してみるとどうなるか、それぞれ考えてみることで。そして、思いついたことを試してみる。そういう繰り返しがあったこそ、新しい気づきが生まれます。

そのときに、どうしても変えられないこともあると思います。それが本当に変えなくてもよい大事なこともかもしれません。あるいは、執着しているだけのものなのかもしれません。どちらなのか見極めるためにも、書き出す作業は大切なのです。答えはすぐに出なくてもいいのですから。

正文舎での私の役割は、こんな質問をし続けて、自然の気づきがたくさん生まれるようにすることなのではないかと思っています。一人ひとりが自分の価値観に気づき、社会情勢について考え、自分の仕事の中で変えるものと守るものを選別ができれば、すごいことが起こるのではないかと楽しみにしています。

TOPICS Googleマイビジネス

Text & Photo_Ebina Mikiko

Googleの検索結果画面は、検索語によって変わるのをご存じですか？ お店、病院、施設など、「場所」に関するキーワードで検索すると、地図が上の方に来ます。お店を運営されている方にとって、この地図の下の一覧に表示されるかどうかは大変重要です。また、スマホでタップされたときに、よい情報が掲載されているかもポイントです。

「補聴器西区」で検索したときの検索画面です。



Googleの口コミ機能で投稿される内容は、制御することはできませんが、それ以外の情報は自分で追加することができます。

この地図の下に情報を追加する機能は「Googleマイビジネス」と言います。

わかりやすい写真を載せているか



住所・営業時間などの情報を十分に提供しているか



商品情報を掲載しているか。



SNSのような情報発信もできます。

さらに、投稿機能もあるので、SNSのように日々のトピックスを掲載することができます。お店や商品の魅力を伝え、来店へのハードルを下げたり、ファンを生み出すことができます。来客を増やしたい方は、ぜひGoogleマイビジネスにチャレンジしてみてください。正文舎では設定代行サービスもありますので、気になる方はご一報ください。

古文書を読む

感 染症ってこんな風に広がっていくんだ——
新型コロナウイルスの感染が、世界中に拡大して
いく只中に自分の身が置かれているなんて、生まれ
て初めての経験です。

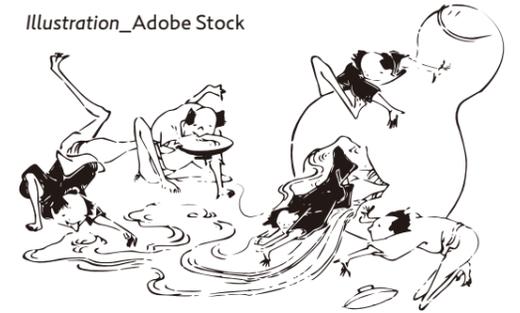
各種イベント・スポーツ・公演等の開催は、ま
だしばらく慎重な検討が必要でしょう。家でじっ
としているのが苦手な方は、ストレスの溜まる日々
なのではないでしょうか。先日朝のニュース番組
で、家中に洗濯ばさみでイチゴをつるして子供に
イチゴ狩りをさせているお宅が紹介されていま
した。退屈している子供たちのために、あれこれ考
え工夫を凝らす親御さんたちには、感心してしま
います。

2~3月は例年通り仕事がとても忙しかったの
で、休日に溜まった家事をこなしているうちにあ
つという間に月曜日、という感じでしたが、まもなく
GWですし、テレビに釘付け必至のオリンピックは
延期ということで、私も家での過ごし方を考えねば
なりません。

買っぱなしで読んでいない本を読みまくりま
しょうか。一番最近買ったのが、古文書解説の本
です。ちょっとマニアックかな。でも本屋さんに行
くと、一般向けの古文書解説書が、何種類も並ん
でいるので意外でした。自分で買いに行ってお
いで何ですが、需要はあるのでしょうか。

読みにくい字を、「達筆すぎて読めない」なん

Illustration_Adobe Stock



て言うことがあります。達筆風なだけの悪筆を擲
揄してそう言うこともあります。本当に美しい毛
筆文字も難解なものが多いですね。理由は、その
多くが私たちが普段使っている楷書体ではなく、古
文書と同じ崩し字で書かれているから。筆で速く
書くために省略が多い草書体や、変体仮名^{※1}を読
むには知識が必要です。古文書の勉強をすれば、
こんな文章もある程度読めるようになります。

実際の古文書は、「北海道立文書館」に行く
と開拓使文書などが閲覧できます。以前は赤レン
ガ庁舎内にあったのですが、今年江別市に移転、
この4月にオープンするそうです。

また、「古文書解読検定^{※2}」という試験を発見
しました。第一回の検定が2016年ですから、とて
も新しい検定試験のようです。一級目指して勉強
でも始めましょうか。老後の趣味にも繋がりそう
です。

※1：明治33年の小学校令施行規則により一音一字に統一されたため、使われなくなった昔のひらがな。
(参考:古文書解読検定HP <http://komonjyo-kaidoku.jp/>)

※2：(一社)古文書解読検定協会が実施

校正の現場から。

最近、主に学生さんの文章で、「なので」を文頭に使用しているのを
たびたび見かけます。例えば、

コロナウイルスが流行中なので、外出は控えた。

→コロナウイルスが流行中だ。なので、外出は控えた。

といった具合です。

「なので」は本来文中に使うもの。口頭なら良いのですが、学校・仕事などの
きちんとした文章の記述で、こうした使われ方をするのは違和感を覚えます。

若い世代では普通のようなですし、許容する向きもありますが、皆さんは
どう思われますか。

正文舎の春

正 正文舎の最近のNew&Goodsは、5年ぶりに新卒
の社員が1名入社したことです。学校を卒業
したばかりで、周囲の社員にいろいろ教わりながら仕
事をしている姿を見ると、春がきたなと思います。

北海道はすっかり雪がとけて、これから花も本格的
に咲き始めます。先日、会社周辺のお宅で、クロッカ
スが芽を出しているのをみつけ、心がほんわかしてき
ました。

正文舎では3月までは繁忙期。うれしいことに仕事
をたくさんいただき、社員もがんばって期待に応えてく
れました。

現在の社会状況では手放して喜ぶことはできない
のですが、少しでも明るい気持ちでいたいと思ってい
ます。

それには、やはり使う言葉が一番重要です。どう
しても、使う言葉に心も左右されてしまいますから。
ですので、私もなるべく否定形ではなく、肯定形で話
すようにしています。メールで「△△△しないでくだ
さい」と書いたときは、「○○○をお願いします」と

書き直してみます。「しないでください」という言葉
の裏には、どんな希望があるのだろうかと自分に質問
しています。それがどんな効果を生み出していくのか
まだわかりません。それでも、少しはこの想いが伝わ
っているのではないかと思うことがあります。

「忙しそうだけど体調はどうですか?」と声をかけたら
「知っていてくれたのですね」とうれしそうに答え
てくれるとか、「ここで作業したら寒くない?」と聞い
たらにこっと笑って「大丈夫ですよ」と言ってもらえ
ると、私もうれしくなります。たぶん、私が気づいていな
いところでも、社員同士がお互いに助け合ってくれて
いるのでしょう。

もちろん、現実を知るためにはそうも言っていられな
いことはあります。それでも「いい言葉」を使ったら、
「いい反応」が返ってきて、それが「いい状況」を
作ると信じています。

ですので、まずは自分から、自分ができるところか
ら、しっかりと実践していきたいと思います。



《 会社概要 》

社 名：株式会社 正文舎

代 表 者：代表取締役 岸 昌洋

創 業：昭和 9年 5月 1日

設 立：昭和27年 5月15日

資 本 金：1,400万円

所 在 地：[本 社]
〒003-0802
北海道札幌市白石区菊水2条1丁目4番27号
TEL.011-811-7151
FAX.011-813-2581

[東京オフィス]
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7
オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016
FAX.03-5413-4017

取扱い品目

印刷事業

【商業印刷物】

[情報系] パンフレット・リーフレット・カタログ・チラシ、会社案内、ポスター、カレンダー、PR誌、取扱説明書（マニュアル）

[物流資材系] 各種封筒、包装紙、シール・ラベル

【出版印刷】

[書籍] 名鑑、各種名簿、記念誌、単行本

[雑誌] 週刊誌、月刊誌、専門誌

[新聞] 各種業界新聞、学校新聞

[学参系] 教科書、辞典、問題集、生徒会誌

[自費出版] 同人誌、自分誌、詩集、エッセイ、写真集

【業務用印刷】

伝票・帳票各種、オンデマンド／バリエーション、小ロット印刷、賞状（学位記・証書等）印刷、可変宛名印字、ダイレクトメール

情報メディア事業（WEBサクセス） <https://www.websuccess.jp/>

各種WEBサイトの企画・制作・運営管理、各種データベースの企画・構築・運営管理、クロスメディア展開の企画・構築・運営管理

賞状net事業

賞状・表彰状等のインターネット通販サイトの運営

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関わる 弊社の取り組み

2020年03月10日

弊社では、新型コロナウイルス感染症の予防として、まず自分たちの健康を保ち無理なく業務を行うことを第一と考えています。そのため、下記の対応を行っています。

【社内では下記の点を徹底しています】

- ◎出勤時および外勤後に社屋に入る際、石けんやアルコール消毒による手洗いや、うがいを徹底しています。
- ◎勤務中はできる限りマスクの着用を推奨しています。咳エチケットを徹底しております。
- ◎体調がすぐれない社員の出勤は見合わせております。
- ◎10人以上の会議や会合への参加は控えています。
- ◎出張は事態が収束するまでは、経営者のみとしております。
- ◎通勤の混雑を避けるため、時差出勤を可能にしています。
- ◎社員一人ひとりの状況によって、出勤時間を柔軟にしております。

なお、正文舎社内に、不特定多数の方が、一度に来社されることはありません。



メディア・ユニバーサル・デザイン協会認定の
メディア・ユニバーサルデザイン・アドバイザーの
資格を持った制作者が多く在籍しています。



グリーンプリンティングの認定を受けています。



P-00023

全日本印刷工業組合連合会による
CSR認定制度の基準を達成しています。



IS 618840 / ISO 27001

ISO/IEC 27001:2013 JIS Q 27001:2014
情報セキュリティマネジメントシステム
の認証取得をしています。



ぶらねっと
©2008 syoubunsysa.inc

★ぶらねっとくんは、正文舎の業務や取組を紹介するときに
どこからともなく現れるオリジナルキャラクターです。

情報をクリエイト

株式会社 正文舎

札幌
本社 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目4-27
TEL.011-811-7151 / FAX.011-813-2581

東京
OFFICE 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-7 オリエント赤坂モートサイド805
TEL.03-5413-4016 / FAX.03-5413-4017

<https://www.syoubunsysa.co.jp>

※本誌はデジタル印刷機 Ricoh Pro C9200において、在庫紙を使用し、オンデマンド印刷・インライン製本をしています。

Publisher ■ Kishi Masahiro
Creative & Art Director ■ Narita Sadayuki
Chief Editor ■ Ebina Mikiko
A to Z Writer ■ Shirafuji Saori
Topics Writer ■ Ebina Mikiko
New & Goods Writer ■ Shirafuji Saori
Focus on JAPANESE Writer ■ Kurita Miyuki
Editor ■ Honma Kazumi
Editor ■ Tokunaga Moe
Digital Printing ■ Narita Sadayuki

CR_labo in SYOUBUNSYA